

スーパーサイエンスハイスクール 米沢興譲館高校SSH通信

2年理数探究科 関西サイエンス研修

8月6日～8日、2年理数探究科生徒が、関西方面へサイエンス研修を行いました。専門的・先端的な研究機関等を訪問し、本物を見ることで、キャリア形成を図りました。また、各県のSSH校の高校生が参加するSSH全国生徒研究発表会に参加し、研究活動に対する意識の高揚を図りました。

【研修日程】6日…大型放射光施設SPring8 7日…神戸国際展示場（SSH生徒研究発表会）、理化学研究所
8日…神戸国際展示場（SSH生徒研究発表会）

盛夏上の科学

2年 女子

研究職に携わりたいと感じていたため、多くの研究機関を訪れることができ将来を考える良い機会となった。私が研修で最も印象に残ったのは飽くなき探究心を持って、活動する大人や同世代は世の中に数え切れないほどいると実感できたことだ。その一人は理化学研究所で私達を案内して下さった高橋さんである。関西独特な会話のテンポや言葉で科学の面白さを心から伝えようとする姿勢に瑞々しさを感じた。彼女の「教科書は全てわかったように書いてるけど、そんなことない。なんならたまに間違ってる」というような言葉が印象的だった。教科書のような正しい体裁のものを批判的に見て、正しさや未解明なことに疑問を持つことこそ私達の役割なのだろう。私達がそこで生まれた疑問や問題を無下にせず、解決しようと思えることができれば、私達はきっと、すでに研究者である。

学校と家を往復し、勉強をする日々…。そこの興譲館生！忙しさに飲まれいつの間にか受験のためだけに科学を学んではいないだろうか？

紙面上の科学だけでは気づけない科学の面白さが世界には溢れていることを忘れないでいたい。



2年国際探究科 国際探究研修「模擬国連研修」

8月5日～7日、2年国際探究科の生徒が、天元台高原を会場に国際探究研修を行いました。外国語指導助手8名を交えて模擬国連演習に取り組み、会議において限られた時間内に、内容・伝え方を考えて効果的な英語によるスピーチを行う研修を通し、パブリックスピーキングの能力を鍛えました。

YES WE CAN

2年 男子

澄み切った空気を宿した天元台高原を舞台に国際探究科研修、題して「南米English Camp」が開催されました。

3日間に渡り行われた研修は、私たちに数々の貴重な経験をさせてくれました。初めに行われたのは、模擬国連。ここでは「核軍縮」をテーマに国際協調に向かって議論を重ねますが、トレードオフ状態の問題に折り合いをつけていく国際社会の難しさを痛感しました。続いて天元台に移り8人のALTの先生方と合流しました。この空間での公用語は英語。あたかも異国の地に来たような高揚感、そして不安を感じました。しかし、ALTの先生方との活動やBBQなどで勇気をもって話すことで、たとえ拙い英語でも楽しく交流ができました。人生で一番英語を話すことが楽しいと感じた瞬間でした。

この最高の3日間は私に国際意識、英語力、そして挑戦する勇気を与えてくれました。終わりに、私が模擬国連で大使を務めたある国の大統領はかつて、言いました「Yes, we can 私たちはできる」と。



全国SSH 生徒研究発表会

8月6日～8日、スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が神戸国際展示場で開催されました。5/20の探究活動成果発表会で最優秀賞を受賞した『GOD of the WIND! 風を使った未来のクリーンエネルギー サボニウス』班（3年女子2名）が本校代表として参加しました。

